

# 関東山梨地域大学グループ

## ● 関東山梨地域産学協働協議会

- ・グループ全大学(14校)
- ・地元産業界から選定した中核となる経済等団体・企業(14団体)

4つのステップ(計画)で大学と産業界との連携協力の在り方等について大局的かつ総合的に協議検討および評価検証する(PDCAサイクル)。

- ① 産業界の人材ニーズと大学の産業界へのニーズの把握
- ② 産業界と大学の接続に関する課題の共有
- ③ 産業界と大学間の連携協力体制の構築
- ④ 各大学及び大学グループ合同での取組と取組成果の評価検証

参加・意見の  
反映

<産業界等>

※下線は中核となる  
経済等団体・企業(14団体)

### ①地域の団体

神奈川県内陸工業団地(協組)  
(公財)川崎市文化財団  
(一社)相模原市幼稚園協会  
臨海副都心まちづくり協議会  
東京経営者協会

東京経済大学・多摩地域産学連携推進委員会

清瀬市社会福祉協議会

(公社)栃木県経済同友会

山梨県中小企業団体中央会

(特非)武蔵野スポーツクラブ

(社)相模原・町田大学地域コンソーシアム

神奈川県情報サービス産業協会

相模原市保育連絡協議会

IT産業懇話会

(一社)日本クラシック音楽事業協会

(独)水産総合研究センター中央水産研究所

(公財)武蔵野市国際交流協会

(公社)日本演奏連盟

夜さらい祭り実行委員会

厚木商工会議所、など

### ②地域の自治体

・三鷹市役所

・西東京市役所、など

### ③地域の企業

(株)日立製作所

日産自動車(株)

(株)JTBコーポレートセールス

(株)富士通

(株)クラフト

東京ベイコート倶楽部

(株)ロイヤルパーク汐留タワー

(株)八芳園、など

協議、連携協力、  
全体評価

## ● 関東山梨地域大学グループ協議会

- ・グループ全大学(14校)
- ・幹事校:電気通信大学
- ・副幹事校(庶務):武蔵野大学

- ① グループ全体の方向性と基本計画の決定
- ② グループ共通の取組計画や合同事業の決定
- ③ 取組テーマの状況と成果の品質管理・評価
- ④ 教育改善研究会各グループの提案・提言の協議・評価

## ○ 幹事校会議

グループ全体並びに取組全般の  
総合的な調整

- ・幹事校:電気通信大学
- ・副幹事校(庶務):武蔵野大学
- ・グループ幹事校:横浜国立大学、昭和音楽大学、東京経済大学
- ・グループ副幹事校:亜細亜大学、神奈川工科大学、創価大学

全体調整、運営全般

確認・意見・  
評価検証

報告・提案・  
提言

## ○ 教育改善研究会

産業界のニーズに対応した教育改善による学士課程教育全般の質的向上へ

### 取組テーマ①

産業界のニーズに対応したキャリア  
開発科目の高次化

- ・グループ幹事校:横浜国立大学
- ・グループ副幹事校:亜細亜大学

### 取組テーマ②

産業界のニーズにマッチした学修評価・  
指導方法の開発

- ・グループ幹事校:昭和音楽大学
- ・グループ副幹事校:神奈川工科大学

### 取組テーマ③

産官学地域共同によるインター  
シップの高次化

- ・グループ幹事校:東京経済大学
- ・グループ副幹事校:創価大学

インターンシップ  
サービス・ラーニング  
実務家教員、など

# 関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善

3つの取組テーマに基づく教育改善をグループで推進することにより  
グループ各大学において産業界のニーズに対応した教育の質的向上を図る。

取組テーマ	目標		具体的成果	メンバー校
	共通	テーマ毎		
<b>取組テーマ①</b> 産業界のニーズに対応した キャリア開発科目の高次化	産業界のニーズに対応した 教育改善による学士課程 教育全般の質的向上へ ・各大学の取組によって得 た知識・知見と成果の共有 ・成果の社会発信	学士課程教育の質的向上に 繋がる産業界と連携した教育 の開発・実践	① 体系的キャリア教育プログラム モデルの作成 ② 産学連携教育モデルの作成 ③ キャリア開発科目のグループ大学 相互単位互換の検討	メンバー校(14校) ・グループ幹事校: 横浜国立大学 ・グループ副幹事校: 亜細亜大学 宇都宮大学、電気通信大学、北里大学、 創価大学、東京経済大学、 日本社会事業大学、 武蔵野大学、神奈川工科大学、 昭和音楽大学、山梨英和大学、 和泉短期大学、昭和音楽大学短期大学部
<b>取組テーマ②</b> 産業界のニーズにマッチした 学修評価・指導方法の開発		学生の主体的な学習を支える ための学修評価・指導方法 の多元的な研究開発	① ポートフォリオモデルの確立 ② アセスメントの改善 ③ FDIにおけるアクティブ・ラーニング の推進 ④ 評価マネジメント方法の確立 および質的向上 ⑤ 教育方法の改善開発と教員の 教育能力の涵養	メンバー校(12校) ・グループ幹事校: 昭和音楽大学 ・グループ副幹事校: 神奈川工科大学 電気通信大学、横浜国立大学、 亜細亜大学、創価大学、 東京経済大学、日本社会事業大学、 武蔵野大学、山梨英和大学、 和泉短期大学、昭和音楽大学短期大学部
<b>取組テーマ③</b> 産官学地域共同による インターンシップの高次化		産業界との連携強化による 新たなインターンシップ・モデル の開発	① ジェネリックスキル獲得型モデル の確立 ② 課題解決型教育モデル(チーム ビルディング等の活用による)の 開発 ③ プログラムの質的転換による 主体性のある学生の増加	メンバー校(11校) ・グループ幹事校: 東京経済大学 ・グループ副幹事校: 創価大学 宇都宮大学、電気通信大学、 亜細亜大学、北里大学、 武蔵野大学、神奈川工科大学、 昭和音楽大学、山梨英和大学、 和泉短期大学